

令和元年度第1回小牧市いじめ問題対策委員会会議録

1 開催日時	令和2年2月17日(月) 午前10時00分から
2 開催場所	小牧市役所東庁舎1-1会議室
3 出席	柴田委員長、楠本委員、森委員、中村委員
4 欠席	吉川委員
5 事務局	中川教育長 伊藤教育部長 高木教育部次長(学校教育担当) 堀田学校教育課長 加藤管理指導主事 瀬尾指導主事
6 傍聴者	0人
7 議題	(1) 小牧市内の小中学校におけるいじめの現状 (2) 実際のいじめ事案における対応の検証<非公開>

<開会 午前10時00分>

1 開会

(高木次長)

皆様、本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただ今より、「令和元年度第1回小牧市いじめ問題対策委員会」を開会いたします。

私は、司会を務めさせていただきます。小牧市教育委員会事務局学校教育担当次長の高木です。よろしくお願いいたします。

<資料確認>

まず始めに、資料の確認をさせていただきます。

・次第

・資料1 「小牧市のいじめの現状」

・資料2 「令和元年度第1回いじめ実態調査(4月~6月)の結果」

・資料3 「令和元年度第2回いじめ実態調査(7月~11月末)の結果」

・資料4 「学校別いじめの認知件数一覧」

・別添資料「配席表」でございます。

不足などがございましたら、お申し出ください。

傍聴について

本委員会は、「小牧市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき開催するものでございます。

平成27年度に初めて開催されたいじめ問題対策委員会における議決事項により、個人が特定可能な議題などを除き、原則公開として開催しております。本日は、議題(2)につきまして、実際に市内の小学校で起きた案件であり、実名等は伏せさせていただきますが、内容から個人が特定される恐れがあるため、議題(1)については公開、議題(2)については、非公開として開催したいと思っております。よろしいですか。

(異議なしの声)

異議なしとのことですので、議題(2)は資料や議事録も含めまして、非公開とさせていただきます。

なお、本日のこの会議の傍聴者は、ございませんでした。

それでは開会にあたりまして、中川教育長よりあいさつを申し上げます。

(1) あいさつ

(中川教育長)

おはようございます。年度末の大変お忙しい時期になってまいりましたが、委員の皆様にはご出席いただきましてありがとうございます。

本日は、今年度の本市の小中学校におけるいじめの現状を報告させていただきますが、いじめにつきましては、SNSなど見えないいじめの深刻化が懸念される場所であり、やはり予防策が重要であると感じております。また、新型肺炎につきまして、本市の小中学校には、外国人児童生徒が約1,000名在籍しており、中国の日本人学校の閉鎖に伴い、現在、体験入学ということで共に学んでいる状況であります。そういった中、風評被害など、いじめに繋がらないようアンテナを高くして注視しながら丁寧に配慮して取り組んでいるところであります。

本日は、それぞれのお立場から忌憚ないご意見をお聞かせ願いたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(高木次長)

次に柴田委員長よりごあいさつをいただきたいと思います。

(柴田委員長)

おはようございます。資料を見ますといじめの認知件数は増えており、学校のいじめを認知することに対する取組みが進んでいるということではありますが、実際にこれだけのいじめが存在するというところであります。いじめによって、苦しんでいる子ども、保護者の方がおみえになり、また、その対応をする教員も苦しんでいるというこ

とを事実として受け止め、委員の皆様から意見をいただきいじめの対応を考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(高木次長)

ありがとうございました。本日の出席委員ならびに、事務局職員につきましては、お手元にご覧いただけます配席表のとおりでございます。

2 議題

(高木次長)

それでは議事に移らさせていただきます。議事の進行につきましては、委員長をお願いしたいと思います。

柴田委員長よろしくお願い致します。

議題 (1) 小牧市内小中学校の現状について

(柴田委員長)

議題 1 について事務局の説明を求めます。

<事務局より資料 1、資料 2、資料 3、資料 4 の説明>

(柴田委員長)

事務局よりいじめの現状について、説明がありました。質問やご意見がありましたらお願いします。

(森委員)

いじめの認知件数をみると小学校が少なく、中学校が多いという状況ですが、原因として何か考えられることはありますか。

(瀬尾指導主事)

資料 1 の黄色の部分を見ていただきますと、1000 人あたりのいじめの認知件数が示されておりますが、全国的な傾向では小学校のいじめ認知件数は、中学校の認知件数の倍くらいですが、本市は、中学校の認知件数が小学校の認知件数の倍であるという状況です。いじめの認知は、いじめ対応のスタートであるということを市教育委員会から各学校のいじめ・不登校担当者に会議で説明し、軽微ないじめも含めて認知するようにしておりますので、中学校に比べて小学校の認知件数が少ないことについて、十分に認知ができていないいじめもあるのではないかとこのことを懸念しております。

(森委員)

小学校と中学校でいじめの認知に対する取組みに違いはありますか。

(瀬尾指導主事)

小学校と中学校でアンケートの実施や教育相談の時期など、取組みの違いは特にありません。同じ取組みでも数値が異なっているという状況です。

(柴田委員長)

いじめの取組みについて、学校評価など、各学校に地域の方は関わっていますか。

(瀬尾指導主事)

学校では、コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会など、地域の方々と話し合っ学校づくりを進めています。中学校では、青少年健全育成会もありますので、そういった中でいじめの話も話題になります。また、今は、全小中学校を見てもいじめの認知件数が0件という学校はありませんが、いじめの認知件数が0件の場合は、保護者や地域の方々に説明して確認するように指導しております。

議題 (2) 実際のいじめ事案における対応の検証

<非公開>

3 その他

(柴田委員長)

その他について事務局よりお願いします。

(瀬尾指導主事)

特にありません。

(柴田委員長)

それでは、議事については終了しました。事務局にお返しします。

(高木次長)

委員の皆様、長時間にわたるご審議ありがとうございました。

これもちまして、小牧市いじめ問題対策委員会を閉会いたします。

<終了>